

講師紹介と講師からのメッセージ

必修領域：ヒューマンeラーニング講習「教師のための教育最前線」

浅井 経子

【略歴】

八洲学園大学教授。筑波大学大学院博士課程教育学研究科を単位取得退学。淑徳短期大学教授を経て現職。日本生涯教育学会会長、同学会『生涯学習e事典』構築・編集委員長、文部科学省「政策評価に係わる有識者会議」委員、内閣府「統計委員会」専門委員、神奈川県教育委員会「かながわ生涯学習ネットワーク推進協議会」委員、兵庫県「県民生活審議会」委員等。

【受講者へのメッセージ】

新学習指導要領は、知識基盤社会においてますます重要視される「生きる力」を継承し、それを支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を目指しています。新学習指導要領に基づき学校教育が効果的に展開されるためには、家庭や地域社会と学校との連携が必要といわれています。そのような観点も含め、本講習では、教育政策の動向、関係法令、学校教育の課題等について取り上げます。

鈴木 啓之

【略歴】

八洲学園大学准教授。東京学芸大学教育学研究科障害児生理・心理専攻、名古屋大学医学研究科環境医学専攻修了。教育学修士、博士（医学）。生理学研究所、ハンブルグ大学医学部生理学研究所、茨城大学情報処理センター、茨城県教育庁教育情報化推進担当、茨城県教育研修センター教育情報ネットワーク管理センターを経て現職。県の教員研修では「教育の情報化」を担当し、教育行政では「危機管理（情報セキュリティ）」「著作物利用」「e-learning 導入」「情報アクセシビリティ」を担当。

【受講者へのメッセージ】

講習は「学校危機管理」と「医学・心理学的知見」の2コマを担当します。また、「学校をめぐる近年の状況変化」の話題として著作物の教育利用や個人情報の取扱についても紹介します。講習では、チャット・掲示板その他の機能を使っての受講者の皆さんからのフィードバックを得て、受講者の皆さんが関心をもたれる話題等に臨機応変対応していきたいと思えます。

沼倉 佑栄

【略歴】

八洲学園大学教授。早稲田大学政治経済学部卒業後、日本アイ・ピー・エム（株）に入社し、営業課長、経営管理者研修シニア・インストラクター、営業部長、秘書室長、社長室長、理事、常勤監査役、日本アイ・ピー・エム研修サービス（株）研修アドバイザーを経て、平成18年4月に現職。

【受講者へのメッセージ】

管理職やリーダーとしての役割、動機付け、問題解決、リーダーシップ等について、実践的・具体的な例を取り上げ、基本的な考え方の理解を図りたいと考えています。また、仕事の上で重要なコミュニケーションのあり方、とり方について、臨床心理学、大脳生理学の観点やコーチングの手法等の観点から取り上げてみました。学校教育の現場で役立てていただければと願っています。

渡邊 達生

【略歴】

八洲学園大学教授。宮崎大学教育学部卒業後、大分県公立小学校教諭、筑波大学附属小学校教諭、筑波大学講師（道德教育の研究・特別活動の研究）を経て現職。筑波大学附属小学校では、永年にわたり道德の全国公開授業を行う。文部科学省「心のノート」編集協力者委員。

【受講者へのメッセージ】

子どもたちに居場所ができるようにするために、そして、先生方が教育に生きがいを感じることができるようにするために、特別活動や道德教育があります。その視点をもって今までの教師生活を振り返ってみましょう。子どもとのかかわりづくりの、新たな視点が見つかります。子どもの快適な学級生活や学力向上・道德心の育成について、実践事例を紹介します。

選択領域：Aコース ヒューマンeラーニング講習「武道と青少年教育＊非行と前兆行動」

大石 純子

【略歴】

八洲学園大学准教授。筑波大学体育専門学群卒業。筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻修了（体育学修士）。剣道錬士六段。「中高生の武道スポーツと人間形成（演習）」、「日本武道の歴史」などの授業を担当。

【受講者へのメッセージ】

新しい学習指導要領では、中学校において武道が必修の扱いとなっています。このことは、

保健体育科教員だけの問題としてではなく、学校教育全体に関わることで受け止める姿勢も大切なのではないでしょうか。武道について、一緒に考えてみましょう。

赤沼 幸子

【略歴】

八洲学園大学教授。千葉県警察で23年間少年補導専門員として非行少年の補導や、少年に関する相談、児童虐待に関する事案、犯罪の被害者になった少年の救済や安全対策等に従事。現在、法務省委嘱の保護司として非行少年や犯罪者の立ち直りを見守っています。

【メッセージ】

現代の少年非行の特徴は補導非行歴のない少年たちが強盗・傷害致死事件などの重大事件を起こすことから「いきなり型」といわれます。が、決して“いきなり”ではありません。自我が未成熟なので、心の中に急激な変化が起こりつつある時には必ず前駆的行動を示します。

その「前兆」を学んで、指導しやすい初期段階で対応すれば、非行は必ず防げます。前兆も非行自体も少年達の救助信号なのですから。

選択領域：Bコース ヒューマンeラーニング講習「子どもを育む学校図書館*共感を育成する古典指導法」

高鷲 忠美

【略歴】

八洲学園大学教授兼附属図書館長。東京学芸大学教育学部卒業。文部省図書館職員養成所（現・筑波大学図書館情報学群）卒業。静岡女子短期大学（後に静岡県立大学短期大学部）講師、助教授を経て、東京学芸大学教授・附属教育実践総合センター長、附属図書館長を経て、現職。

【メッセージ】

現在、教育界でも子どもの「読書」に関心が高まっています。新学習指導要領でいう「言語活動の充実」にも「読書」は欠かせません。学校で「読書」を中心的に担うのは学校図書館です。「読書センター」として、「学習情報センター」としての学校図書館の目的を踏まえながら、学校図書館を学校教育のインフラとしていかに構築するか、なぜ構築しなければならないのかを、お話ししたいと思います。

中田 雅敏

【略歴】

八洲学園大学教授。昭和20年、埼玉県に生まれる。公立高校を30年間務め、その後目白大学客員教授を経て、現在に至る。家庭教育課程長、教務委員長を務める。現在、八洲学

八洲学園大学 ヒューマンeラーニング教員免許状更新講習

園大学国際高校校長兼務。韓国韓瑞大学客員教授、中国廈門大学客座教授。日本家庭教育学会理事長、俳人協会幹事。

【メッセージ】

埼玉文芸賞二回、俳人協会評論新人賞受賞。短歌を窪田章一郎先生に、俳句を安東次男先生に学ぶ。30歳より創作を続け今日に至る。公立高校では、埼玉県高校教員採用試験問題作成委員及び採用試験委員を務める。初任者研修、5年次研修、10年次研修等の研修委員を務める。現在は、埼玉県教育委員会、埼玉県歯科医師会共催の小中学生「歯の健康に関する標語コンクール」審査委員長、人権作文コンクール審査委員などを務める。

短歌・俳句の指導について学校では困難なこともあり、まま単元が扱われないことがある。本講座ではこのように韻文をめぐる教授の方法について講じる。実際に簡単な創作を試みながら、具体的な方法について講義を進める。

選択領域：Cコース ヒューマンeラーニング講習「教師に役立つ教育行政*公共論」

石井 雅之

【略歴】

八洲学園大学教授。筑波大学第一学群人文学類卒業。筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科(倫理学専攻)単位取得退学。文学修士。横浜国立大学教育人間科学部非常勤講師などを経て、現在に至る。担当科目は「公共精神の育成(演習)」「正義感の育成」「西欧倫理思想概論」「現代社会の倫理的課題」「人生の哲学と人間形成」など。

【受講者へのメッセージ】

講習を担当するにあたっては、どなたでも、楽な気持ちで受講していただけるようにと考えています。また同時に、貴重な時間をあてて受ける講習ですので、どなたにも何らか意義あるものにできればとも思っております。現在多くの方が関心を寄せる公共論・公共心について、この機会にご一緒に考えてみませんか。

齋藤 荘之助

【略歴】

八洲学園大学客員教授。元神奈川県教育長、元同県立短大教授・学長。「学校週5日制と家庭・学校・地域論」「教育と法(教育基本法、社会教育関係法、地方教育行政組織運営法含む)」などを担当。

【受講者へのメッセージ】

学校教育は現場の教員の創意・工夫によって生き生きと行われなければならないが、同時に、あらゆる制約から完全に自由ではあり得ない。

多くの教員は、教育の理念に基いて展開される国の行政の大枠の中でその創造性を発揮す

るよう日々努力している。

したがって、学校教育の現場を担当する教員にとって、教育行政の動向を適確に把握することが極めて必要であるが、そのためには、教育行政の様々な原則、生身の人間を育てるという他の行政とは異なる原則を理解することが非常に重要である。

この講義では、現実には生起している教育の問題にも触れながら、教育行政の原則とその動向について学ぶこととする。